

# エグゼクティブコーチに求められる能力・行動基準 (JEA コア・コンピテンシー)

一般社団法人日本エグゼクティブコーチ協会  
(株式会社コーチビジネス研究所監修)



一般社団法人  
日本エグゼクティブコーチ協会  
Japan Executive-coach Association

## 目次

A. コーチとしての基準・倫理観 .....	3
B. クライアントと協働関係を構築している .....	4
C. 効果的なコーチングができている .....	5
D. 行動と成長を促している .....	6

## A. コーチとしての基準・倫理観

### 1. コーチとしての自分を確立し、高い基準を持って行動している

1. コーチとしての役割を理解し、道徳・倫理に基づき、真摯かつ誠実に行動している
2. コーチとしての Purpose（目的）、Values（価値観）、Principle（原理原則）が明確である
3. クライアントを一人の人間として尊重し、立場・役割・状況・自己認識・経験・価値観・信念に慎重に配慮している
4. 個人情報保護法その他の関係法令を遵守し、経営情報や個人情報を適法かつ適正に取り扱っている
5. コーチングとコンサルティング、カウンセリング等の支援業務との違いを理解し、明確に区分して実施する。必要に応じて外部リソースを活用している
6. クライアントやスポンサーに対し、透明性をもって説明責任を果たしている
7. 社会や組織におけるダイバーシティ&インクルージョンの重要性を理解し、自らも体現している

### 2. コーチングマインドを体現している

1. クライアントを信頼し、無条件の肯定的関心をもって受け止めている
2. 相手の立場・役割・状況・自己認識・経験・価値観・信念を共感的に理解しようとしている
3. エグゼクティブの地位や権威に影響されず、公平で対等な姿勢を保ち、開放的かつ安定的で自信ある態度を柔軟に示している
4. 自身の内的安全性を保ち、クライアントの緊張や不安に巻き込まれず、共に「いまここ」に在り続けている
5. クライアントにとって耳の痛いことも勇気をもって伝えている
6. クライアントや組織の利益を優先しつつ、公平性を失わない「利他的姿勢」で取り組んでいる

7. 自身の心身の健康を安定的に維持できるように、常にセルフケアに努めている
8. コーチ自身も目標に向かって努力し、自己研鑽を続けている
9. 自分の感情を適切に認識・コントロールできている
10. 自己一致を意識的に体現している

## **B. クライアントと協働関係を構築している**

### **1. コーチングに関する合意形成**

1. コーチとクライアント双方がコーチングの意味を理解している
2. 双方が選択と行動の責任を理解している
3. 進め方・スケジュール・期間・料金等の条件について合意ができている
4. 「経営課題」と「個人の成長課題」の両面から目的・目標を明確にし、定量・定性の成果指標に合意している
5. コーチとクライアントが共通認識を持ち、パートナーとしての関係を築いている
6. クライアント（本人）とスポンサー（企業・人事部等）の契約範囲を適切に設定し、三者間の利害調整を倫理的にマネジメントしている

### **2. 信頼関係がある**

1. クライアントが自由に話せる安全・安心な環境を創り出し、「ここでしか語れない」心理的安全性を一貫して醸成している
2. 相手の立場や状況を尊重し、コーチングのスタイルを柔軟に合わせている
3. クライアントの可能性を信じている
4. 信頼関係を深めるために適切に自己開示している
5. 批判や評価をせず、受容的に関わっている
6. 権力や組織内政治の文脈でも、中立性と信頼性を崩さずに関わっている

### **3. プレゼンスを維持する**

1. 不確実性や緊張感の高い場面でも、落ち着いた在り方を保っている
2. クライアントの沈黙や感情の変化を受け止め、非言語的なサインに敏感に反応している
3. コーチ自身の在り方そのものが、安心と信頼を生んでいる

## **C. 効果的なコーチングができている**

### **1. クライアントのモノの見方・考え方を深める**

1. 言葉の背後にある真意を理解しようとしている
2. 経営用語・財務・戦略的背景を理解しつつ、本質的な意味や意図を聴き取っている
3. 表面的論理の背後にある「恐れ・価値観・信念」に耳を傾けている
4. 言葉遣いや概念を問い直し、掘り下げている
5. 感情を取り扱い、内面を探求している
6. 態度・表情・声のトーン等のノンバーバル情報も観察し、掘り下げている
7. 「前提・信念・価値・ニーズ・欲求」等を問いかけている
8. クライアントがありのままにいられる関わりをしている
9. 目先の課題対応に留まらず、長期的成長と自走を見据えて関わっている
10. 多様な価値観を統合し、意思決定できるよう支援している
11. 自己成長だけでなく、他者の成長に意識が向くように関わっている
12. 思考・感情・行動のパターンを客観的に捉えられるよう支援している
13. クライアントが複雑なシステム環境で意思決定していることを理解し、多面的な視点を促している

### **2. 気づきを引き起こしている**

1. クライアントのニーズに応じ柔軟に対応している
2. クライアントが「今の自分を越えた新しい考え」に至れるようにしている
3. 望む成果に向けて思考の幅を広げている
4. 観察に基づき、事実・影響・意味づけを整理したフィードバックを行っている
5. 戦略的思考（短期×長期、個人×組織）を行き来できる問いを設計している
6. 「存在レベルの問い」（私はどう在りたいか／この選択は誰のためか）を扱っている

## **D. 行動と成長を促している**

### **1. 成長を促進させる**

1. 成長のために観察・直感・意見を伝えている
2. 前進に必要なリソースや障害を検討できるよう支援している
3. 望む成果に向けて継続的に進めるよう支援している
4. セッション終了後の行動が明確になっている
5. チャレンジを促す提案でより高いレベルを目指させている
6. 自責で取り組める最適な方法を見出すよう支援している
7. クライアントがより自分らしく生きられるよう関わっている
8. 協力してセッションを終えている

### **2. 学びと成長を統合し、行動を支援する**

1. 気づきを具体的な行動や意思決定に落とし込むよう支援している
2. クライアントの成長が組織成果や文化変革にどうつながるかを共に検討している
3. 自己リーダーシップを発揮できるよう責任と自律を促している

4. 成果や成長を投資対効果や組織インパクトの観点から振り返り、スポンサーと共に効果を検証している

2022年1月11日制定  
2025年10月1日改訂